

白樺耐水合板で構造用途

テツヤ・ジャパン

テツヤ・ジャパン 実施した。

(神戸市、木村哲哉社)

は、12^ミ厚(9層、全

層白カバ、ノンJ A

層白カバ、ノンJ A

S) 4×8判で、柀材

にカナダツガ(E12

O)を採用した耐力

壁。同一形状で3体作

成力壁の試験を13日に

行なった。

試験に用いた合板

は、12^ミ厚(9層、全

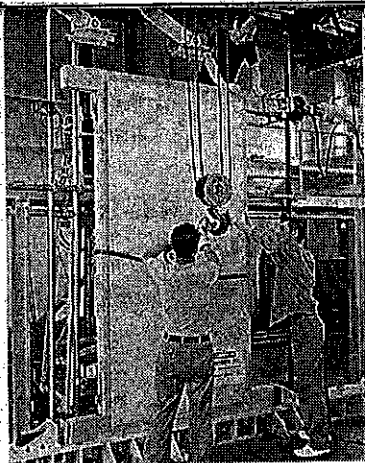
層白カバ、ノンJ A

層白カバ、ノンJ A

S) 4×8判で、柀材

にカナダツガ(E12

O)を採用した耐力



住木センターで行った試験

製して試験を行い、試験成績書を近々取得して取引先等へ告知していく。

「白カバ耐水合板は構造用認定材ではないので、躯体で試験結果をそろえ、住宅壁用に利用できる「アータを取り組みとなる」(木村社長)。

同社合板は4^ミ30^ミ厚までそろい、主用途は内装用や棚板、家具部材など。現在の供給数量は月間30立方メートルだが、白樺が持つ強度や表面性を切り口に、構造用という用途拡充を図ることで供給数量を伸ばし、コスト競争力を引き上げるとも考えている。